

《 学校教育目標 》 自分を育て ともに伸びる子の育成	《育てたい資質能力》			
	意志力	(セルフマネジメント)	自己回復力	(レジリエンス)
	課題解決力	(タスクマネジメント)	多面的・多角的な見方・考え方	(リフレーミング)
		協働する力 (3S：リーダーシップ フォロアーシップ パートナーシップ)		
		安全・安心をつくる能力 (リスクマネジメント)		

評価計画				自己評価					学校関係者評価		改善方策
中期経営目標	短期経営目標	評価項目 (評価規準)	手だて	当初		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	
				期待値	達成値						
生活の基盤となる心身ともに健康で、安全に生き生きと学校生活を活動する児童を育成する	防災教育で、防災に対する基本的知識・技能を身に付けさせ、的確な判断で自らの安全を守る態度を育成する。	自分の身の安全を守る意識や防災安全についての知識・理解や技能の習得に関わる項目において肯定的評価 70%以上	○避難訓練での振り返りを次の訓練等に生かせるよう指導の工夫を行い、学期ごとにステップアップさせる。 ○外部講師からの指導により専門的な知識・技能を身に付けさせる。	児童アンケート 70%							
	体育的行事の取組を通して、進んで楽しく運動しようとする態度を育成する。	行事後の児童アンケートで、運動が楽しいと答える児童の割合70%以上	○体育的行事で、達成感を感じさせるための取組みをしくみ、目標設定や振り返りをさせる。								
自他を大切に、自分たちの生活の質を向上させるためにメタ認知できる児童を育成する。	生活の決まりを守り自分たちの生活を向上させるとともに、自他のよさを認め合うことのできる児童を育成する。	児童アンケート「規範意識」「自他のよさをみつけている」の項目における肯定的回答 80%以上	○ルールやマナーを意識して行動することができるようするために、「みぶあた8」をもとに学級活動や委員会活動の中で目標を設定し、学級や学校での取組の状況を視覚化し規範意識の高まりを目指す。 ○自分や友達のよさを見つけてカードで伝える取組を定期的に行うことで、自他のよさを実感し、自信をもって人と接することができるようにする。	児童アンケート 80%							
楽しく、分かるまで、粘り強く主体的に学ぼうとする児童を育成する。	自力解決が難しい課題に対しても、ともに学び合うことを通して、「わかるまでがんばろう」「がんばったらできた」「やればできる」と感じることで授業づくりを行い学力の定着を図る。	算数科テスト正答率の学級平均 【各単元末実施】 知識・技能 全国比 105 以上 思考・判断・表現 全国比 100 以上	○生活や既習事項と児童をつなげる発問を通して、学習内容が自分ごととなるような活動を仕組む。 ○算数用語を用いて学び合い、互いの発言を共通理解できる土壌を作り上げる。また、説明の型を示し、児童に実際に説明させ、だれもが短い文章で表現できる授業づくりを進める。	知識・技能 全国比 105 以上 思考・判断・表現 全国比 100 以上							
「安心・安全な学校」を基盤として、保護者・地域に信頼される学校づくりを進める。	業務の効率化を図るとともに、風通しの良い職員室を実現することで、不祥事防止に努める。	子供と向き合う時間が確保されていると感じる職員の割合 100%	○業務改善と計画的な学校運営を推進することで、業務の効率化と役割分担の明確化を図り、職員の負担軽減と教育活動の質的向上を両立させる。 ○校内衛生委員会で働き方等の状況確認を行い、改善案を発信実行しながら風通しのよい職場をつくる。	教職員アンケート 100%							

(1…達成できなかった) < 60 60 ≤ (2…あまり達成できなかった) < 80 80 ≤ (3…おおむね達成できた) < 100 100 ≤ (4…十分達成できた)

A…学校の自己評価は大変妥当である B…学校の自己評価はほぼ妥当である C…学校の自己評価は少し妥当でない D…学校の自己評価は妥当でない